

東アジア経済統合研究協力拠出金

令和3年度予算額 4.5億円（4.5億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 急速な経済発展に伴い、東アジアのエネルギー需要は急増しており、この地域におけるエネルギー利用の高度化が、世界のエネルギー安全保障の観点からも重要な課題となっている中、東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）を通じて、東アジアサミット（EAS）や各国政府等へのエネルギー政策提言を行います。
- 東アジアにおいて体系的に調査研究・政策提言を進めるため、ERIAの中長期ロードマップに基づき、省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用を促進しつつ、電気自動車の導入や、新たなエネルギー源として期待される水素のポテンシャルなど、最新の動向調査も実施し、東アジア地域全体として最適な資源・エネルギーの活用を推進します。

成果目標

- 我が国から提案した調査研究をERIAが実施し、エネルギー利用の高度化を図るとともに、東アジアサミットエネルギー大臣会合等の機会を活用し、我が国のエネルギー政策の実現を目指します。
- ERIAが我が国の提案したエネルギー調査研究の報告書を、年間11件以上発表することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



拠出金

東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）

事業イメージ

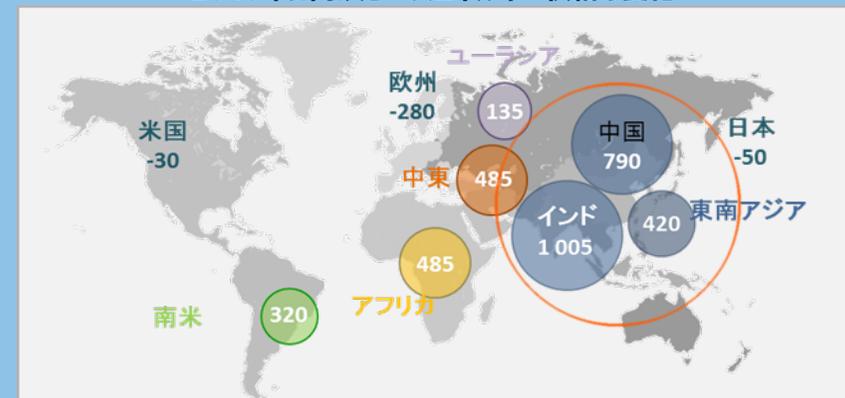
東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）

東アジアサミット
エネルギー大臣会合

課題分析、政策提言

- 引き続きアジアが今後のエネルギー需要増加を牽引。
- 中国・インド・東南アジアの2040年までのエネルギー増加量は世界の約6割を占める。

2040年に向けた一次エネルギー供給の変化



(出典) IEA World Energy Outlook Southeast Asia 2017